

平成28年度第3回東広島市入札監視委員会会議概要

1 会議名

平成28年度第3回入札監視委員会

2 開催日時・場所

平成28年11月15日(火) 午後1時30分から午後2時50分まで
東広島市役所本館4階 入札室

3 出席委員

横山委員、岩元委員、早川委員、宮本委員、石垣委員

4 出席職員

総務部技術調整監、建設部次長兼河川港湾課長、建設部道路建設課長、都市部区画整理課事業第一係主査、都市部営繕課長、事務局員

5 会議の概要

(1) 入札及び契約手続に係る運用状況の報告について

次の事項について、事務局から説明を行った。

- ア 入札方式別発注工事の状況
- イ 指名除外措置の運用状況

(2) 検証対象工事の検証について

次の検証対象工事について、入札参加資格要件、工事概要等を事務局及び施工担当課から説明を行った。

- ア 小学校新設事業 (仮称)寺西第二小学校校舎新築工事(建築)
- イ 平成28年度 寺家地区土地区画整理事業 寺家地区造成工事(28-4)
- ウ 学校給食センター化事業 (仮称)北部学校給食センター新築工事(厨房機器設置)(その3)
- エ 平成28年度 市道整備事業 中島小谷線(重兼工区)道路改良工事
- オ 平成28年度 農業用水利施設管理事業 千丈ヶ原ダム観測設備更新工事

(3) その他

次のとおり決定した。

ア 次回委員会の開催について

平成28年度第4回委員会の開催は平成29年2月の予定とし、後日調整を行うことに決定した。

イ 次回の検証工事抽出委員について

次回の抽出は岩元委員が行うことに決定した。

6 発言の内容

(1) 入札及び契約手続に係る運用状況の報告について

発言者	内容
委員	入札参加者が1者で落札率100%の工事がありますが、予定価格と同額で入札した理由が分かれば教えてください。
事務局	落札者にヒアリングはしていませんので推測ですが、水道管の布設替工事は、当時の施工図面と現地の状況に不整合があるなどして、コストがかかる場合があるため応札者が少ない状況にあります。

(2) 検証対象工事の検証について

ア 小学校新設事業（仮称）寺西第二小学校校舎新築工事（建築）

発言者	内容
委員	低入札価格調査について、どのように調査が行われているのか教えてください。
事務局	低入札価格調査は、発注担当課で失格基準に該当しないかを数値的な判断だけではなく、安全対策等についても調査をしています。契約課では、提出書類の不備・不足などについて審査をしています。すべての調査をした上で、東広島市建設業者等選定審査会の承認を得ています。

イ 平成28年度 寺家地区土地区画整理事業 寺家地区造成工事(28-4)

発言者	内容
委員	入札参加者11者のうち10者が無効入札ということですが、このことについて説明してください。
事務局	この工事は、最低制限価格を設けており、最低制限価格を下回る入札は無効入札となります。最低制限価格は、最低制限価格の基準となる最低制限価格基準価格に開札時に0から0.5%のランダム係数を乗じた額を加えた額となります。最低制限価格は、事後公表、最低制限価格基準価格は、非公表としています。 例えば、ランダム係数が0.1%くらいであれば、この10者は無効にならなかったと思われそうですが、0.5%に近い状態となりましたので、10者が最低制限価格を下回りました。今回の落札者のように予定価格に近い金額で入札される方もいます。
委員	ランダム係数は、工事ごとに変えているのですか。
事務局	ランダム係数は、工事ごとに設定しています。開札時に定めるため、事前に分かるものではなく、法則性もありません。
委員	仮にこの工事の場合、最低制限価格は、ランダム係数によりどれくらい変動するのですか。
事務局	仮に最低制限価格が7,000万円ぐらいの工事の場合では、7,000万円に対す

委員	<p>る0.5%ですので、40万円弱の幅となります。</p> <p>この工事は、落札率が100%に近いですが、多くの入札参加者が最低制限価格を下回っています。入札参加者の大多数は、最低制限価格未満の価格で工事ができると考えているのに、ランダム係数により本来の入札の姿とは、異なる形になっていると感じます。入札によって、工事をより安く適正に施工しようとする中で、このような結果を招いていますが、仕方ないのでしょうか。</p>
事務局	<p>過去、本市では、最低制限価格の算出にランダム係数を乗じていない時期があったのですが、その場合、全者が同額となって、毎回10者ぐらいでくじ引きを行う状況がありました。そこで、この方式を採用しました。</p>

ウ 学校給食センター化事業（仮称）北部学校給食センター新築工事(厨房機器設置)(その3)

発言者	内容
	質疑無し

エ 平成28年度 市道整備事業 中島小谷線（重兼工区）道路改良工事

発言者	内容
委員	<p>入札参加資格において、同じ東広島市内にありながら入札に参加できる等級が異なっているのは、なぜですか。</p>
事務局	<p>工種ごとにAランク、Bランク、Cランクという3つのランクを設定しており、ランク別に発注基準を設けています。</p> <p>この工事は、金額的にAランクに発注する工事ですが、地域の工事ではできるだけ地域に発注するために、今回この工事が高屋町の工事ですので、高屋町の業者であればBランクでも参加できる設定にしています。</p>
委員	<p>この工事の入札のパターンをみると、先ほどの検証対象工事と似ていて、入札参加者の多くは、大体3,000万円あたりで入札されていて、落札者は、3,300万円が入札されています。先ほどの工事と同じようにランダム係数が高めになったということなのでしょうか。</p>
事務局	<p>この工事も0.5%に近いランダム係数となったためです。</p>

オ 平成28年度 農業用水利施設管理事業 千丈ヶ原ダム観測設備更新工事

発言者	内容
	質疑無し